

議事録

記録者 中島 一弘

	市長	副市長	部長	課長	課長補佐	主係	査長	グループ員
供 覧								
件 名	道の駅整備事業に関する意見交換会							
年 月 日	令和 4 年 12 月 18 日 (日)							
時 間	午前 10 時 00 分から午後 0 時 00 分まで							
場 所	馴染コミュニティセンター							
参加市民	25 名							
内 容	<p> ■開会 ■市長あいさつ ■主催者側出席者紹介 ■資料説明 ■意見交換（要約） </p> <p> 【参加者】 事業費 25 億円は、4 月時点で算定したものか。物価の上昇等は加味されているのか。 </p> <p> ●事務局 概算事業費については、国土交通省で公表されている建設工事費デフレーター（2022 年 6 月 30 日公表）を使い再算定しました。 </p> <p> 【参加者】 一番不安なことが、80 万人の来客があり、約 9 億円の売り上げが出るということ。 </p> <p> 前面交通量を調べ直しているが、その増加を単に加えただけであり、算定の仕方について以前と変わっていない。指定管理候補者をすでに決めているが再検証に関わっているのか。 </p> <p> また、牛久沼はそもそも一級河川谷田川，西谷田川の合流で、県が河川管理者である。護岸工事も基本的には県の事業であるべき。県は牛久沼の今後のこと等考えを持っているのか。市長は県議会議員であったので情報があるのか。 </p> <p> ●市長 現在計画されている道の駅は 6 号国道なので、道路管理者である国と市で整備を行うものです。 </p> <p> 環境整備と護岸については、県にもこれからしっかりお願いしていきます。 </p> <p> ●事務局 再検証は、事業費、収支状況なども含めて、道の駅整備の情報がきちんと、皆 </p>							

様に伝わっていないということで、スタートしました。基本計画策定から時間の経過もあることから、利用者数、事業費、収支見込みなどを算定し、皆様のご意見をお伺いしたうえで、道の駅をどうするか判断していくということで考えています。

単なる見直しではなく、基本計画には含まれていなかった上下水道のインフラ工事費、修正設計した護岸改修工事費等含めた事業費を示しました。また、指定管理候補者とは適宜協議し作業を進めております。

【参加者】

類似する道の駅を参考としているが、柏のしょうなんを例としても、全く同じようにはできない。経営的に大丈夫かということについての再検証はしてないのか。

●事務局

年間利用数は、面前道路の交通量を基礎とし、ハフモデル等を用い年間利用者数 55 万～100 万人という幅がある中で、中間値ということで 80 万人と設定しました。

当然 80 万人という利用者を維持していくためには政策としてやっていかなければならないこともあってと思います。年間売上も、この年間利用者数を基礎に 8 億 9000 万円と算出しました。

【参加者】

取手市桑原地区にイオンモールが国内最大級の出店をしようと計画されていると聞いた。この大型商業施設が数値に反映されているのか。道の駅には反対。もう 1 回考え直していいのではないか。

●市長

取手市桑原地区の大規模商業施設計画、本市の道の駅と商圈が重複するというふうに考えられるということですが、相互に影響しあう施設として一部の需要を共有するという可能性があるとは推察します。

ただし、本市の道の駅に関しては、牛久沼の豊かな自然環境等、個性を生かして気軽に集える居場所を提供するもので、利用者が施設に期待する役割が異なる施設だろうと思います。

【参加者】

大型商業施設ができれば、ここの道の駅ができたとしても、人が寄ると思わない。

令和 4 年で 1198 駅あるが、黒字の駅がどのくらいあるのか。赤字が出たら税金をつぎ込むということになる。

優先順位があり、保健施設、学校建替等他にお金がかかる。今、コロナで大変な状況の中の人たちがたくさんいるのだから、そちらに税金使ってもらいたい。道の駅は、今まで何年もこの状態でいても、困ったことはない。だから、私は反対という考え。

【参加者】

最終的な決定権は議会にあるのか。それとも市長にあるのか。

●市長

市側から事業予算を提案し、議会の議決をいただきます。最終的に決めるのは市ということになります。

【参加者】

私は反対とか、賛成とかじゃない。施設の中に文化的なものを展示する場所がない。市民が楽しむ場、大事な場所だと思う。それが一つ不満。予定地にあつたほとんどの木が伐採され、美しかった風景が無くなったことも不満。これだけの予算を使うのであれば、他に何か市民の役に立つものがないか考えていただきたい。

【参加者】

旅行等に行き、道の駅があれば必ず寄っている。旅行に限らず移動しているときには必要な休憩場所。だから、国道6号に、道の駅ができることは大賛成。取手に大型商業施設ができたとしても、龍ヶ崎の道の駅が対抗するという事はない。道の駅は単純に、休憩して、食事して、帰るという所。

首都圏から来る時、向かう時、この場所は、時間的にも、距離的にも良い所。他の道の駅と違い、風景も良く大賛成。

【参加者】

道の駅あったら、いいかもしれないが、高齢者が増えて、若者が少なくなり、若者の車離れも進むこの時代に、トイレ、牛久沼を眺めるだけで収益もない。事業として大反対。

【参加者】

80万人の利用者と売り上げについては疑問がある。道の駅はいろいろあるが、農産物の販売が主になると思う。龍ヶ崎へ引っ越してきた時、非常にいいところだと思った。龍ヶ崎の米は日本一。ただ、野菜については量も種類も少ないと農家から聞いた。その意味では、龍ヶ崎の農家が潤うという事はあまり無い。それから、若い人が、龍ヶ崎、素晴らしいと、引っ越して来て永住する話を聞かない。安心して働ける、保育園、大学生が安心して暮らせる、若い人が転入するような、まちづくりに税金を使って欲しい。基本的に道の駅については反対。

●事務局

売上高については、面前道路の交通量と、年間利用者数を基礎に、立地条件が類似する道の駅の状況を参考にして試算しました。

この数値は、地域の魅力ある農産物特産品、特色ある飲食物等を販売した際の道の駅と、水辺の美しい景観を有する隣接する牛久沼の持つ市場規模です。ただ、これだけの売上をあげるには、大変な運営努力が必要になると考えます。もう一点、まちの魅力創造課では、定住促進の業務も併せて行っています。大

学のあるまちということで 10 代後半から 20 代前半というのは転出が多くなる傾向にはありますが、若者世代の転入促進や転出抑制を図るための取組を進めております。近年では、0～4 歳、30～40 代の子育て世代は転入超過となっています。

【参加者】

努力をしてきているけど難しい、失敗する。

笠間は、昨年立ち上げたが、日本 3 大稲荷もあり観光がある。龍ヶ崎は観光に力を入れてない。竜ヶ崎ニュータウン、工業団地を作って、ここに力を入れてきた。観光のシンボルとなるものが無い。だから、道の駅に来て、牛久大仏、牛久シャトーに行かれてしまう。しかも民間の力でやってきたから牛久は立派。地震があれば後ろの水も暴れる。場所もここではない。

農家は今、在庫を抱えないよう通販に注力している。道の駅とか、たつのご産直市場に出すと在庫を抱え赤字になる。この道の駅は失敗する。

●市長

道の駅整備地の選定に至る経緯で、基本構想の中で龍ヶ崎市の地域資源である、牛久沼を活用するとともに、まちの活性化と知名度アップの実現を目的に道の駅整備地の候補を 3ヶ所挙げました。その後、基本計画策定検討会議を経て、交通量や課題を整理する中で、現在の整備予定地を選定した経緯があります。

危ない場所ではないかとの意見もありましたが、避難所と一時避難所は別な考え方です。国道 6 号のような重要な幹線道路や高速道路は災害の時にも、いろいろな物資を運ぶために、通らなくてはならない道路になります。そうした際に、道の駅は、一時避難場所になると思います。

避難所は、高台の体育館といったところになります。

【参加者】

道の駅の再検証が、私には道の駅をやるという前提に感じる。説明会も 2 回しかやらない。申し込みもインターネットでの申し込みでは躊躇する。もっとたくさんの方の意見を聞いて欲しいと思う。これだけのお金を使うなら、子育て支援、高齢者支援にお金を使って欲しい。道の駅は反対。

●市長

たくさんの方の意見を聞くということで、アンケートも実施しており、現在約 1500 件の回答をいただいています。

議会でも、住民投票についてどうかという質問もありましたが、今は、市民の皆様との話し合いや、アンケートをしている段階です。現時点では住民投票は考えておりません。

【参加者】

道の駅建設には反対。私は牛久沼が好きです。景色が好きで、そのままが望み。富士山も見れ、みんなに見てもらいたい景色。16 億円も使って道の駅を作るだけの価値はない。ただ、立ち入れるよう護岸の整備は必要。16 億円は、市民

のための教育、福祉等に使っていただきたい。

【参加者】

護岸整備は、龍ヶ崎市だけの問題じゃなくて、周辺5市が研究していかないとだめだろう。

【参加者】

12月議会の中で、4月の市議会選挙で住民投票を一緒にやれば経費も少なくて済むと一般質問があった際、「議員がマニフェストや公約をお考えになるでしょうから、併せて住民投票を行うと道の駅が公約に及ぼす影響があるかもしれないので同時にはできない」と答弁があった事を聞いたので、他の日にやるのかなと思った。

議会と市長は別の組織であり、その二つは、車で言えば両輪が市民を運んで走って行く。片方が暴走したら、車は横転する。だから、市長サイドが、議会の公約だの云々を論じるというのは、隣のタイヤに対して、あんた右に走れよと言っている様なもの。議会と市長は互いに切磋琢磨して、市民を無事に未来へ走らせて生活を届けていくということをよく考えていただきたい。

【参加者】

資料には想定するパターンとして3案ある。私が賛成するのは広場整備。国道6号、東京から40kmぐらいなので、一休みするには丁度いい。ここに道の駅が出来たらいいと思っていた。でも、道の駅より、駐車場が一番必要じゃないかと思った。道の駅はとても収支が無理だし、龍ヶ崎の特産物は何かと聞かれたとき、イチゴがいいよ、トマトがいいよ、コロッケがいいよと言うが、よそから見たら特産にならない。なので、駐車場と広場があったら一番いいということが私の意見。

【参加者】

かなり反対の意見があり、びっくりした。ここに道の駅ができると聞いたとき、これはいいと思った。あちこち旅行をする際には、道の駅に車を止めます。食事したり、トイレ行くとかが道の駅なんです。それ以上ではない。豪華なデパートメントを作るわけじゃない。道の駅があるだけで龍ヶ崎の名前がここから売れていく。それを皆さん考えなければいけない。

首都圏から来るときに、休む場所として、ここが最適だというふうに思っている。

牛久沼を我々は知っているし、すばらしい風景だと言っているけれどそれを、近くまで行って見ている人なんて誰も居ない。道の駅ができれば、仕事で来ている人、あるいは観光でここを通り過ぎる方も、道の駅に寄って、牛久沼を近くまで行って見ることができる。牛久沼は、首都圏には無いすばらしい風景。国道6号で、ああいう風景は、ここにしかない。その価値は金では換算できない。

ここは龍ヶ崎をPRする絶好の場所であり、儲かる、儲からないの話、それは

これから考える。農産物等ここで生産する物を売るのは当然のことで、出荷したい事業者が増えてくる。

【参加者】

私はスマホもインターネットもやっていない。より多くの人意見を聞いたら、電話でも受け付けているとりゅうほーに書いてほしい。アンケートも、りゅうほーの中に入れてあってもよかったのではないかな。

どんどん物価が上がり、市民の生活も大変。そういう中、採算性がどうかかわからないものにお金をつぎ込むのではなく、今の生活をどう安心して送れるかということにお金を振り分けて欲しいと思っている。

あそこは遊べるところで、観光に来る人もトイレは必要なので、その整備はやっていただきたい。

【参加者】

牛久沼をずっと見ているが、前はものすごく綺麗だった。うなぎ屋さんも、国道の両サイドにあったが、だんだん少なくなってしまった。道の駅、作って欲しかったと思っていたがタイミングがずれてしまった。

一番気になるのは、結婚式場の跡。落書き、一部壊れた建物、国道を走っていても取手方面からのバイパスを下りてくるとあれが目につく。景観も悪く、水辺公園の方から見るとあれが大きく目に入り、残念だなと思う。ああいうものを公的に取り壊すことはできないのか。道の駅もあった方がいいが、あれもこれもやると膨大な事業費になるのであきらめようと思っている。

●市長

結婚式場跡の土地は市所有です。建物は一般の方が所有するものです。法的な手続きを含め、慎重に考えながら行う必要があります。

【参加者】

転入してきて5年だが、今住んでいる地区は、交通の便も良く、便利でいい。車も乗っていたが止めた。整備予定地は、富士山、夕焼けの風景、沼とマッチしてすばらしいと思う。そこへ道の駅ができれば景色が見えなくなるんじゃないか。自然を残したいという気持ちもある。だから道の駅に関しては疑問です。交通量が多く渋滞になることも考えられ、上り車線から入れない道路も改良しないとイケない。そうすると工事に経費もかかる。税金でやるんだから、恵まれない人、子供、老人何か福祉にかけた方がいいと思う。

【参加者】

市長はちょうど1年前、就任された。市民が萩原市長を選んだ。

道の駅に限らず、いろいろあるが、やりたいことであれば別だが、変に引き継ぐべきではない。勇気をもって政治的に一旦終わりにすることによって、いろんなことができると思う。

国道として、あそこに一定の駐車場などは、あってもよいので藤代バイパス、土浦バイパスもできていくなかで、あそこだけ平坦部になる。国に、例えば災

害時の集積所として整備してもらえないか。

それから、河川の護岸、責任持ってやらざるを得ないけども、県もあるので折半でやるとか。県との関係でいえば、トレイルの話もそうだけど、龍ヶ崎だけが言っても何も始まらない。牛久沼水際線地域計画をもう一度見直しながら、県を引っ張り出して、可能であれば、県立の自然牛久沼公園のようなものを整備してもらうために、龍ヶ崎が中心になり周辺のつくばや取手などと協議ができないか。こういう外交というのは大変かもしれないが、ぜひ県南の市町をまとめ大井川知事とのパイプもあると思うので、ここは時間がかかっても県を交えたしっかりとしたものをちゃんとやっていく。そのためには下手なものを作ったり、いじくりまわさない方がよい。

住民投票であれ何であれ、一定の賛成と反対がある。いずれにしても不満が残る。一旦ご破算にした上でしっかりしたものにし、時間がかかっても国や県と協議をしながらやる。そうすることで、みんなが納得して将来にいろんなことができる。

それは道の駅という形ではないかもしれないけれど、いろんな成果が残る、そんなふうと思う。ぜひ勇気をを持った政治的決断を願う。

●市長

龍ヶ崎にとって、どういうことが一番メリットがあるのかということをしっかり考えたいと思います。

18名の議員の皆様からも、提言書をいただいております。提言は、人が安全に集える、駐車場、トイレの整備に努めること。整備にあたっては国県の補助事業を活用に努めること、国等のソフト事業や民間活力を活用し、にぎわいの創出に努めること。牛久沼についての地域資源を活用して、にぎわいや、憩いの場所としていただきたいという内容です。

牛久沼についてどう考えているかなんですが、どのような、10年後20年後を想像していくかだと思っています。

例えば、手賀沼のように、車の入らない一周できる道ができると、そこに人が集うようになる。公園がたくさんあり、道の駅、温泉もあり、いろんなものがあります。そこに、いろんな方が来るような状況が生まれています。マラソン、サイクリング、トライアスロン、花火大会、犬の散歩、子供たちを連れてきたりとか、すごくいいなと思います。

水戸の千波湖は、一週3kmだが、車の入らない道があり、市民がそこに来て、走ったり歩いたりする。そういったことは考えていきたいと思っています。

まずは、皆さんに、道の駅がどうあるべきか、今どんなイメージを持っているのかをアンケートの内容や、市民の皆様から話を聞き、その上でどのようにしていくか決めていきたいというふうに思っております。

●市長

皆さん、道の駅云々ではなく、牛久沼のにぎわいに対する思いというのはどうでしょうか。

【参加者】

思いはあります。

	<p>●市長 先日、牛久沼で花火大会もありましたが、夕日を見たり、何かがあるときに、牛久沼に行きたい、そういう思いってどうですか。</p> <p>【参加者】 今の状況では、とても行きたいという魅力が全くない。人が集るような、本当にすばらしいと言う方は、市民の一部、知ってる方のみだと思う。 それを、龍ヶ崎に限らず、周辺の市町村、他県、いろんな人に魅力を知っていただくということをやるにはどうしたらいいかという一つの中でこの道の駅という話が出てきたというふうに思っている。 ただ、道の駅を作ることが予算を含め、市の負担、税金による市民の負担それを勘案して妥当かどうかということは今一度考えていただきたい。個人的には大賛成だが、もう少し検討をしたうえで最終的に結論を出していただきたい。</p> <p>【参加者】 にぎわいは駅の周りを何とかしてほしい。自然をそのままにするということ価値がある。メリハリが必要。</p> <p>●事務局 本日は、皆様から多くのご意見をいただきまして、ありがとうございます。 今後も事務局として可能な限り、市民の皆様からのご意見を伺って参りたいと思っております。</p>		
要措置事項			
情報公開	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">公開</div>	非公開（一部非公開を含む）とする理由 公開が可能となる時期（可能な範囲で記入）	（龍ヶ崎市情報公開条例第9条 号該当） <div style="text-align: center;">年 月 日</div>